



救急

大切な家族が目の前で突然倒れた
交通事故現場に居合わせた
その時、あなたは何ができますか？

平成20年中、松前消防署の救急車の出動件数は1,156件。その内訳は、急病708件、交通事故134件、一般負傷150件、運動競技7件、火災によるもの2件、その他129件、不搬送26件でした。

素早い手当てが大切な命を救う

いざというとき、傷病者に何も救命手当がなされなかった場合、心臓停止後約3分、呼吸停止後約10分、多量出血後約30分で死亡率は50%になってしまいます。

通報から救急車の到着まで平均約7分。救急車が到着する前に、現場に居合わせた人が、どれだけ早く救命手当を行えるかが、傷病者のその後の救命率を大きく左右します。命のリレーは、現場に居合わせたあなたから始まります。いざというときのためにも、消防署が実施している普通救命講習を受講して、心肺蘇生法などの技術を身につけてください。

その119番は本当に必要ですか？

救急出動は年間約1,200件で、1日平均で約3回。ここ数年で増加傾向にあります。しかし、そのうちの半数は軽症です。

松前町には救急車は1台しかありません。不必要な利用が増えると、本来必要な出動に時間がかかったり、遠方から出動することになったりと、1分1秒を争う、助けられる命を救えなくなります。重症の方を優先して搬送できるように、可能な場合は自家用車やタクシーの利用をお願いします。

普通救命講習を受けませんか？

町内であればどこへでもお伺いし、救命講習指導員がわかりやすく指導します。

- ① 普通救命講習Ⅰ（3時間コース）
- ② 救命基礎講習（3時間未満コース）

受講料 無料

日時 できるだけ受講者に合わせます。

最低人員 5名

☎ 松前消防署救急係 ☎984-3404

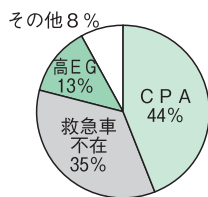
救急車と消防車が連携出動

最近、町内で救急車と消防車が一緒に出動しているところを見ることがありませんか？

これは、消防車（ポンプ車：Pumper）と救急車（Ambulance）が同時に出動し、連携した救急活動を行うもので「PA連携」と呼ばれています。これにより、救急車が他の現場に出動中で不在であっても、応急手当の資機材を積んだ消防車が先に到着して処置を行うことができます。

平成20年中の町内の救急要請依頼1,156件のうち、PA連携活動件数は119件で、全体の10%の症例に活動し成果をあげました。

平成20年中のPA連携出動内訳



CPA…通報時に心肺停止状態と判断したものの救急車不在…松前の救急車が不在高EG…重大な交通事故や転落事故と判断したものの
 その他…上記に該当はしないが、支援が必要と判断したものの

出動する消防車のサイレンにより、皆さんに誤解やご迷惑をおかけする場合がありますが、より効果的な救急活動のため、ご理解とご協力をお願いします。

あわてず、正確に119番

次のことにお答えください

火事ですか

救急ですか

場所はどこですか 目標物は

何が燃えていますか
建物か
車両か
原野か
どんな状況ですか

どんな状況ですか
意識は
呼吸は
脈は
かかりつけの病院は

あなたの名前は 電話番号は